

KITA-NET Network

北海道に広げていこう、環境のネットワーク



きたネット賛助会員／北海道の環境活動を支援する企業・団体

網走市廃棄物処理協同組合 / エムフォトワークス株式会社 / カサシマ建設株式会社 / 五島冷熱株式会社 / 小南印刷株式会社 / 株式会社櫻井千田
公益財団法人知床自然大学院大学設立財団 / 親切会北海道支部 / 株式会社地域環境計画北海道支社 / DCMホームマック株式会社
バタゴニア札幌北・バタゴニアアウトレット札幌南 / 株式会社プリプレス・センター / 株式会社古山商店 / 北海道自動車処理協同組合
一般財団法人前田一歩園財団 / 雪印種苗株式会社

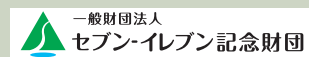
2015年12月以降 きたネットの活動にご寄付・ご協賛をいただいた企業・団体のみなさまです。ありがとうございました。
輪読会グループ ソリトン・コム株式会社

始まります!「ラブアース・クリーンアップin北海道」 2016年度の参加期間は4月1日～11月30日。

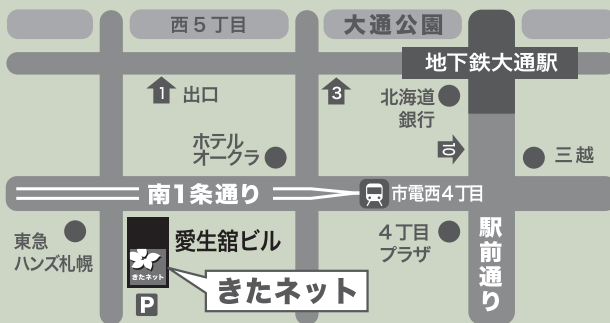
身近な場所のごみ拾いは北海道をキレイにする活動です!
企業や団体、学校や施設等で行っているごみ拾い活動をホームページから登録してください。(URLは右記参照)
たくさんのごみ拾い活動を紹介して「北海道民の環境への想い」と「ごみのない北海道」をアピールします。

【認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク事務局】

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル5F
Tel 011-215-0148
Fax 011-215-0149
E-mail office@kitanet.org



きたネットは、一般財団法人セブン-イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。



きたネット

きたネットWeb <http://www.kitanet.org/>
ラブアース・クリーンアップin北海道 <http://www.love-earth-hokkaido.jp>
森づくりナビ★北海道 <http://kitanet-mori.com>
環境情報Blog <http://blog.goo.ne.jp/kitanet-staff>
きたネットFacebook <https://www.facebook.com/kitanet.org>

きたネットニュース

KITA-NET NEWS 2016/03

MESSAGE

きたネットの年度は3月末締め。年度末は、事業報告書、決算、事業計画、予算と、事務作業に追われる時期です。
2016年度は、第4期中期5カ年計画の策定の年にあたります。
2020年までの今後5年間、どんな目標を持って活動していくのか、5月の総会に向けて議論が続いています。
北海道の環境中間支援組織はどういう役割を果たすべきか、ご意見歓迎しています。

COLUMN

きたネットフォーラムでの「集まる機会がない」という声から、
120名の環境人による交礼会が実現しました。

内山 到

(公益財団法人北海道環境財団)

2016年1月30日、札幌に「環境教育」のキーワードに反応した120名が集まりました。行事名は、「新春環境教育交礼会」。きっかけは、2014年12月に開催したきたネットフォーラム「命をはぐくむ～北海道の環境教育、これまで・これから」で、基調講演をされたNPO法人ねおすの高木晴光さんからの、年1回くらいは、環境教育に関わる面々が集まって情報交換やつながりづくりをしたいねという提案でした。昨今の環境問題は多種多様になり、手法も広がり、どこで誰が何をしているのか捉えきれない状況だということでした。

私は、この高木さんの言葉がずっと気になっていました。中間支援の使命は、活動の担い手の情報交換のアシストを行うことです。これまでも北海道環境教育ミーティングのような集まりはありましたが、事務局負担が重いことなどから継続性は十分ではありませんでした。何とか負担が重くならず開催する手法はないのかと、2014年のきたネットフォーラムに関わった方々を中心に検討会議を持ったところ、北海道教育大学若見沢校の能條歩先生から、商工会議所などでやっている交礼会のようなものがないんじゃない?という提案があり、じゃあ「新春環境教育交礼会をやろう!」ということになったのです。

たくさんの分科会や団体にプレゼンをお願いしたりという準備がなくなり、一気にハードルが下がり、呼びかけ人集めやNPO法人八剣山エコケータ



リングへの発注もスムーズに進みました。反省点はいくつもありますが、一定の形はできたのかなと思っています。

そして当日、高木さん、丸山環境教育事務所の丸山博子さん、能條先生の鼎談は微妙な力関係のもと、しっかりメッセージを発信され、そのあとの懇親会は大盛り上がりでした。後日、何人かの方から感想をいただきましたが、開催への感謝や普段出会えない人との出会いへの興奮が伝わってきました。

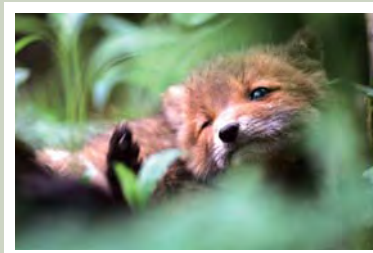
今回は、私が勤める北海道環境財団も実行委員会に加わって事務局を担い、北海道環境教育等推進協議会が共催、北海道庁の方にも積極的に動いていただきました。しかし、これだけたくさんの方が集まったのは、きたネットからの呼びかけは無視できません。参加者のなかには2014年のきたネットフォーラムへの参加者、会員団体のみなさんが相当数含まれていると思います。きたネットが持つ顔の見えるネットワークと人と人とをつなぐ求心力には、今後も期待したいところです。

ひとまず盛り上がった「新春環境教育交礼会」ですが、まだまだ参加できそうな方で来られていない方もいると思います。また、この場がどう活かされているのかという検証も必要でしょう。来年の開催は?という声も多くありますが、みなさんのつながりたいというニーズと、次回はぜひ参加するよ!という声の後押しにつながると思います。

みなさん、集まってくれますか?

INFORMATION

インフォメーション



**2016年5月21日(土) 札幌市教育文化会館にて
2016年度通常総会とセミナーを開催します。**

- 14:00～きたネットセミナー
「世界とつながる意味～北海道の生物多様性を守るために～」
吉田剛司氏(酪農学園大学 野生動物保護管理学研究室 教授)
- 「RCE道央圏がめざすもの」金子正美氏(RCE道央圏準備会)
- 16:30～きたネット2016年度通常総会
- 18:30～交流会(会場未定)

※時間等が変更になる場合があります。詳細はきたネットHPでご案内します。